

別紙1 地元まちづくり関係者の意見とりまとめ

とりまとめの先のこと

課題の要因と戦略を明確に

- ・ 課題の要因が明確になっていないため、優先順位がわからず行動に移しにくい。
- ・ 大胆な考え方や挑戦みたいなものがないと心に響かない。

1. 未来まちづくりの理想像 に対して

このまちに住んでもらう（特に、子供のいる若者世帯）ことが大切

- ・ 店舗だけの方と住居兼店舗の方とでは、自治会にとって意味合いが異なる。
- ・ 観光は、自分たちの幸せな日常の暮らしのお裾分けのようなもの。
- ・ 子供たちが将来Uターンしてもらうには、まちが好きで、誇りで、頼られること。

1-1. 移住者・地元の若者が活躍できる応援体制 に対して

まちづくりに継続して取り組む若いリーダーシップが必要

- ・ まちづくりに継続して関わっていく人間が必要である。

金融機関と連携した資金的な応援

- ・ 金融機関の融資が下りない事例は多い。移住者向けの金融商品がほしい。

1-2. 祭り・漁師町など文化的価値を再評価する に対して

地域プロモーションはこうありたい

- ・ SNS以外（駅のポスターや映画、アニメなど）でも周知する必要がある。
- ・ インバウンド（特に欧米系）の人を呼び込むためにも海外発信を強めていきたい。
- ・ 内川に限定せず、富山湾の中の内川という発信の方が認知されやすいのではないか。
- ・ 県立大学と連携してデジタルを活用した観光情報アプリを開発したらどうか。¹

1-3. 美しい町並み保全と密度ある賑わいづくり に対して 既存商店街の賑わいにも目を向けたい

- ・商店街が無電柱化になると、住んでいる方々の意識が変わるのでは。
- ・商店街は住民が買い物をする表通り、内川は子供たちが刺激を受ける自由な裏通り。

最低限のまちなみのルールは必要

- ・それぞれが自由なデザインでつくり込めば良いが、最低限の取り決めは必要では。

内川沿いを回遊できる動線の整備を

- ・「旧さんの湯」横の内川沿いが通れるようにしたい。

1-4. 暮らしと商売が両立する環境基盤づくり に対して 店舗同士の協力で駐車場問題を解決しては

- ・店舗同士でのシェアや近隣住民の空き地の貸出などの取組が増えれば良いのでは。

まちづくりの意識をもつ不動産会社との連携が必須

- ・まちづくりデベロッパーの意識をもつ不動産会社を作っていくことが大切。
- ・「この家はこういう付加価値のある場所にしたい」と仲介できる人材が必要。
- ・空き家を買上げ、資金力のない方には賃貸することに取り組んできた。

1-5. お店同士の交流とゆるやかな連携体制づくり に対して 新旧店舗が一体感を持つことが大切

- ・既存店舗は商工会議所や自治会の会費、自治会の世話等、苦勞を重ねてきた。
- ・既存商店街の店舗も応援し、新規店舗と一緒にやっていけばいいと思う。

市内の連携を図ってほしい

- ・放生津小学校の跡地利用の話もあるので、担当課同士の連携をとって進めてほしい。

別紙2 地元自治会の意見とりまとめ

1-1. 移住者・地元の若者が活躍できる応援体制 に対して 新規出店してくれる人にもっと応援を

- ・内川周辺の出店について、開業1～2年間は優遇措置をしても良いのでは。

1-4. 暮らしと商売が両立する環境基盤づくり に対して 空き家の掘り起こしにもっと注力してほしい

- ・地元住民の中には、タダでも良いから家を明け渡したい方は多くいるはずである。
- ・いずれ空き家になる家屋や売却できればすぐ明け渡す家屋を登録する制度がほしい。

1-5. お店同士の交流とゆるやかな連携体制づくり に対して 地域住民と店舗との日常的なコミュニケーションがほしい

- ・地震時の避難所の共有など、コミュニケーションが必要だと感じた。
- ・地域住民が新規出店のお店のことを知るきっかけがほしい。

別紙3 新規出店の地域事業者の声（追加）

住民の暮らしの立場こそが大切

- ・地域住民がいきいきと暮らすための店舗・環境づくりの視点が抜けていると感じた。
- ・そもそも住民が観光を受け入れる思いがあるのか、という声を聞くことも大切。
- ・住民のニーズに対応した最寄品を扱う個人店舗がもっと充実してほしい。
- ・音や外装、看板等、住民の目線に立った店舗づくりが必要である。

観光地化に伴う治安への対策も必要

- ・店舗が増えることは良いことだが、その一方で治安や安心感は誰が守るのか。
- ・夜の来訪者をどこまで受け入れるか共通認識を持たないとマナーの悪い人が出てくる。

来訪者の行動実態を知って戦略に結び付けたい

- ・AIカメラ等を用いてどの程度の人が流れているのかを知りたい。
- ・宿泊施設の予約状況が事前にわかれば、仕入量や夜営業などの工夫ができる。

内川までのアクセス方法の共有を

- ・高岡駅から万葉線経由よりも小杉や大門からバスを利用した方が早く到着できる。

市役所や商工会議所等に気軽に相談できる窓口がほしい

- ・新しい取組や企画を行いたい時、どこへ相談すればいいのかわからない。